

特別賞

# 社会福祉法人青谷学園

## 1. 企業の概要



設立 1982年3月18日設立  
 所在地 京都府城陽市中芦原14番地  
 主な事業所 障害者支援施設青谷学園・障害者支援施設DO  
 事業内容 主に重度の知的障害者対象の入所・通所施設です。

## 2. 健（検）診の受診率

### 2017年度健診実施状況

生活習慣病予防健診又は定期健康診断

対象者数	受診者数	受診率
51人	51人	100%

がん検診

検診部位	対象者数	受診者数	受診率
肺がん（40歳以上の常勤者）	23人	23人	100%
大腸がん（40歳以上の常勤者）	23人	23人	100%
胃がん（40歳以上の常勤者）	23人	23人	100%
子宮頸がん（20歳以上女性常勤者）	42人	17人	40%
乳がん（40歳以上女性常勤者）	11人	11人	100%

※子宮頸がんと乳がん受診者数は2016年度から2か年の人数です。

## 3. 当社の健康経営への取組み事例

### 健康経営の実践

#### 腰痛予防対策①

- ・2015年4月腰痛予防対策チーム結成
- ・年に2回、腰痛健康診断の実施  
腰痛がある職員は産業医と面談
- ・毎日始業時に腰痛予防体操の実施
- ・介護職員と60歳以上職員に腰痛ベルト配布
- ・年に2回、腰痛予防標語を募集  
発案者にはホールケーキのプレゼント！

今年もキタ暑い夏！  
水分・休養・ストレッチ  
暑さも腰痛も吹き飛ばそう！



### 健康経営の実践

#### 腰痛予防対策②

- ・毎日2回ラジオ体操を実施  
体操の出来を点数で評価
- ・ノーリフティング宣言  
2018年3月16日

**ノーリフティング宣言**  
 持ち上げない！  
 抱き上げない！  
 引きずらない！  
 中腰にならない！

これらの対策により、この3年間の腰痛労災はゼロとなりました



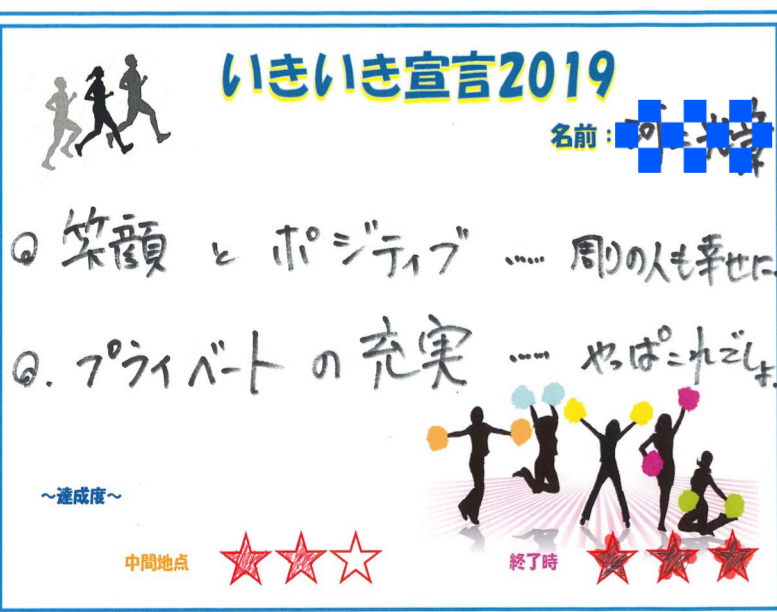
### <働きやすい職場づくりを目指して>

- ・週休3日制
- ・年次有給休暇取得率全職員70%以上

取得認証



## 4. 働き手の変化



いきいき宣言とは  
 各自がいきいきとした日々を送るための取り組みを宣言し公表することで達成を目指します。職員の目につく所に掲示します

### ～当たり前のことも宣言することの大切さ～

笑顔や挨拶 普段は意識していない当たり前のことも、こうして宣言すると新鮮な気持ちになって、笑えたり大きな声が出たりします。それが家族や一緒に働いている人まで「いきいき」とさせてくれます。青谷学園では、そんな良い空気が流れ始めました。皆さんも是非「いきいき宣言」してみてください。

## 5. 経営者の所感

### 健康づくりの実践は家族を想う気持ち

施設はご利用者様にとって第二の家です。そこで働く職員が心身共に健康で笑顔で接することが、最終的に福祉サービスの質の向上に繋がります。職員も青谷ファミリーの一員として、健康で長く働き続ける環境づくりこそが経営者としての責務だと自負しております。

#### 笑顔宣言

感謝の気持ちをいっぱい  
 ポジティブな心をもって  
 あふれる笑顔でふれあいます

笑顔で対応！ 明るくあいさつ！  
 ご利用者様も、職員も、笑顔があふれる施設になることを目指してここに笑顔宣言をします。



理事長 白 櫻 忠

## 6. 今後の取組

### ソフト面とハード面の更なる充実！

(ソフト面) 職員のQOLの向上のため、今後も様々な健康経営に取り組みます。生活の質が上がることによって、職員のエンゲージメントをさらに高め、共に成長を目指します。

(ハード面) 無線LANの入れ替えが完了し全館で柔軟なIoT活用ができるようになりました。今後センサーのついた見守り支援機器等を導入し、ご利用者様の安全と職員の負担軽減の両立を図りたいと思います。

#### 青谷学園健康宣言

青谷学園は、職員一人ひとりが心身共に健康で、明るく生き生きと働くことが、個々の能力や個性を發揮させ、施設をさらに活性化させると考えます。これまで取り組んできた健康施策を進化させるとともに、正規職員も非正規職員も、男性も女性も、すべての職員が健康で長く働き続けることができる環境づくりに取り組むことを宣言します。